

## 洞爺湖町と箱根町が協定を締結

# 大規模災害時の相互応援

洞爺湖町は、姉妹都市の神奈川県箱根町と6月30日役場防災ホールで、災害時の応援活動を取り決めた「大規模災害時等の相互応援協定」の調印式を行いました。

昨年の大規模、広範囲となった3・11東日本大震災の経験から、今後広域的な連携や姉妹都市などの地縁のある遠隔自治体との相互応援協定の整備が急務となり、永年姉妹都市として築

かれてきた友好関係に基づいて、箱根町と同協定を取りまとめました。

同協定では、どちらかの町が自然災害の被害に遭った場合、職員の派遣や食糧、飲料水の提供、被災児童生徒の受入れなど8項目が盛り込まれています。

調印式では、真屋町長と山口箱根町長がそれぞれ協定書に署名。

その後の挨拶で、真屋町長が「災害経験の町として非常に心強い。姉妹都市としての絆が一層深まることを期待しています」と謝辞を述べました。山口町長は「大災害には近隣市町村の協力では難しいので、この締結は心強い。今後ジオパークでの連携も深めていきたい」と話しました。

町は、今年4月にも同様の協定を友好都市の三豊市と締結しています。

## 【箱根町・洞爺湖町】大規模災害時等の相互応援



協定書に署名後、握手を交わす真屋町長と山口箱根町長

## 箱根町自治会長訪問団 町内の 自治会役員らと 意見交換

自治会長らを温かく迎え入れました。  
引き続き意見交換会が行われ、「災害時の対応」「自治会の高齢化」「ジオパークの取組み」などのいろいろな課題について、報告や質問、意見などが取り交わされました。

7月17日、洞爺湖町と姉妹都市の神奈川県箱根町から、1泊2日の日程で、自治会長親善訪問団（团长・福住幸次湯本茶屋自治会長）が訪れ、町内の自治会役員らと意見交換などで交流を深めました。

役場防災研修ホールで行われた歓迎式では、真屋町長や福井洞爺湖町自治会連合会長らが、当町を訪問した20人の箱根町自



町内の自治会役員らと意見交換する箱根町自治会長親善訪問団の皆さん